

新刊紹介

- 一般書 ○児童書



- 朝10分でできるスープ弁当 あったかいからおいしい! 貝たくさんスープレシピ60/有賀 薫(著)/マガジンハウス
- 潮待ちの宿/伊東 潤(著)/文藝春秋
- 私、失敗ばかりなのでへこたれない仕事術/内山 聖子(著)/新潮社



- なんでもモッテルさん/竹下 文子(文)/アヤ井 アキコ(絵)/あかね書房
- マンボウは上を向いてねむるのか マンボウ博士の水族館レポート/澤井 悦郎(著)/ポプラ社
- ふしぎ駄菓子屋銭天堂 12/廣嶋 玲子(作)/jyajya(絵)/偕成社

本の福袋

期間 1月4日(土)~
内容 通常の貸出冊数(5冊)に追加して借りることができます(30セット限定)。1セットに3~5冊入っています。無くなり次第終了です。

フレッシュなあなたにすすめる本展

期間 1月5日(日)~12日(日)
内容 新成人の方や新たな人生の一步を踏み出す若い人におすすめの本を展示・貸出します。

特別整理期間による休館のお知らせ

1月23日(木)~2月6日(木)は、本の点検・館内整理、その他の作業を行うため休館いたします。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いたします。
※本の返却はブックポストをご利用ください。(CD・紙芝居は破損するおそれがあるため除く)

イベント

ベンガラ染めワークショップ

日時 1月19日(日) 午前10時~11時30分
講師 ベンガラ作家・Noma氏
ベンガラとは、土から取れる成分です。媒染剤や火を使わず少量の水で揉み込んで染める省エネルギーな染色です。
材料費 1,500円(手ぬぐい代・泥絵具代)
※動きやすい・汚れても良い服装でご参加ください。
詳しくは、市立図書館までお問合せください。



市立図書館 電話 72-9254

ホームページ
https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/
★開館時間 9:30~18:00

カレンダー 1月10日~2月8日

日	月	火	水	木	金	土
					10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8

□ 休館日 ☆ イベント



講演会について

- テーマ 「勉強のコツ 作文のコツ」
- 日時 2月1日(土) 午前10時~11時30分(受付:9時30分)
- 場所 市民会館第1会議室
- 対象 小・中学生、保護者
- 参加費 無料
- ※申込み・問い合わせは図書館まで。



今月の担当は
中崎隊員です!



地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊が行く!

明けましておめでとうございます。地域おこし協力隊として田布川地区に派遣されている中崎千晶です。新しい年となりました。皆さんは初詣では何をお祈りしましたか?今年も皆さんにとって笑顔が絶えない日々になりますように...

【第6回郷土芸能大会】

11月24日(日)曜日、市民会館大ホールにて枕崎市制施行70周年記念第6回郷土芸能大会が行われました。田布川町にも「棒踊り」が伝承されています。かつて島津公が霧島を開墾するために、田布川からも青年が召集されました。薩摩藩の役人が、武芸の一手でも習得させれば有事の際に兵力の一員として役に立つだろうと、士気を鼓舞する狙いで棒術を取り入れた芸能を習得させたことで始まった踊りです。
大会に向け、踊り手となる集落の小学生、中学生、大人(集落出身の方など)が10月中旬より週3回夜に集まって練習を重ねてきました。また、衣装も合わせるために集落のご婦人たちに採寸や縫い付け等を行って頂きました。毎年ということではないので、踊りも最初はなかなか揃いません。初めて参加した子どもも大人に教えてもらいながら必死で頑張っていました。衣装を着て歌い手さんも揃って練習を重ねました。

当日は各地域の郷土芸能が披露され、先人たちの歌や踊りが令和の世の中に披露されました。地域の人たちが一所懸命に踊り歌い、枕崎の奥深さを感じさせました。
多くの人が参加できるとよいのですが、高齢化もあり参加を募るのも一苦労という状態も聞きます。伝承の難しさを痛感しました。
12月8日、日曜日に、まくらざき探検隊による「下山岳に登ろう」というイベントに親子で参加しました。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、下山岳には「二等三角点(二三角点)」「三角測量」という測量法を行う際に地表に設置された基準点のこと。その位置は「標石」により示されていて、測量の密度によって一等から四等までの等級が定められている。二等三角点の設置間隔は約40kmで、全国に約1000点存在する)があります。開閉岳は二等三角点、下山岳は一等三角点です。
当日は老若男女40名ほどの参加者で、登る事約40分かかりました。二等三角点を確認し、開閉岳と雄大な海を見て登山の醍醐味を味わい、事故もなく山を下りるとお昼時間になり「船人めし」を頂きました。
景色は枕崎の別府地域のお茶畑・お芋畑と開閉岳と海。この風景はどこにも負けない風景です。枕崎には素晴らしいものが眠っていて、まだまだ発掘しきれない「枕崎」がたくさんあるように思いました。またまたいろいろ見つけたいと思います。今年もたくさん「枕崎」を発見したいと思います。

燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

11月30日と12月1日の2日間、枕崎市立総合体育館で、公益財団法人日本武道館等が主催する、「鹿児島県地方青少年なぎなた錬成大会」が開催されました。公益財団法人全日本なぎなた連盟から泉水孝子先生と安井みどり先生、鹿児島県なぎなた連盟から鎌田寿子先生と西田智香先生を講師に迎え、市内外の小・中・高校生約30名が参加しました。
初日は、熊本に江戸時代中期から伝わる「肥後古流長刀」の演武披露があり、参加者たちは普段しているスポーツのなぎなたと古武道の違いに驚いているようでした。その後、基本動作の練習では、新聞をなぎなたで切るなどのユニークな練習も行われました。
2日目は、泉水先生による「袴の装の言い伝え」と題した講話に始まり、泉水先生からは「稽古が終わって袴を畳むときは、装の意味を思い出しながら畳んでください」とメッセージが送られました。その後、なぎなたの

16 鹿児島県地方青少年なぎなた錬成大会を開催

クイズや防具を着けての実技練習などが行われました。参加者は、2日間で多くの練習法や技術を学び、とても充実した表情で錬成証を受け取っていました。
■問合せ 保健体育課国体推進係 TEL72-0170



▲肥後古流長刀の演武披露 ▲初めてなぎなたを手にし、楽しそうに打ち込む参加者 ▲実技練習のようす ▲新聞をなぎなたで切る練習

市長

コラム

vol.10



未来をつくる仕事

こんにちは、前田祝成です。

昨年4月に始めたこのコラムも今回が10回目の投稿となります。今回は私の仕事について書きたいと思っております。

「仕事とは」と問われたら私は次のように答えます。「趣味は自分のためにすること、仕事は自分以外の誰かのためにすること」。さらに言うところ「いい仕事とは人を助けること」と。「人の役に立つ」ということを言いますが、「助ける」とは「役に立つ」を超えていると思っております。本当にいい仕事をして名を残している人は「人を助けて」います。松下幸之助さん、稲盛和夫さん、スティーブジョブズさん。人間の生活を助ける「領域まで達している気がするのです。できるなら私も人を助けるところまで仕事ができたらと思っています。

さて、市長という仕事を始めて2年が経過しようとしています。私が仕事をすることで気をつけていることは、近視眼的にならないこと、目線を上げて長期的な視点で物事を判断するように心がけています。当然、目の前のさまざまな課題には即対応していかねばなりませんし、緊急性を要する仕事も数多くあります。しかしながら、市政運営を長期的な視点で捉えることは、とても重要です。5年後、10年後をイメージする、未来をイメージして戦略を立てていくことは、とても重要です。未来への物語、戦略ストーリーを描く力が必要ではないかと思っています。

市長の仕事は未来をつくる仕事。そして市民を助ける仕事。今年も、前を向いて、視線を上げて、走り続けます。よろしくお願いたします。